

地域団体との意見交換会の概要について

(農業分野)

【農業分野】地域団体との意見交換会の概要について

区分	実施日	地域団体等（参加人数）		
		農業協同組合	複合経営拠点、集落営農組織、農業公社、農業 参入企業、畜産団体、生産者等	計
安芸地域	R5.7.25	4	7	11
物部川地域	R5.7.11	4	7	11
高知市地域	R5.7.10	4	10	14
嶺北地域	R5.7.20	1	13	14
仁淀川地域	R5.7.19	4	9	13
高幡地域	R5.7.21	4	9	13
幡多地域	R5.7.12	4	10	14
計		25	65	90

1 地域の現状と課題の確認

(1) 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化

○データ駆動型農業について、データを活用できていない生産者がまだまだいる。今後はどの層をターゲットに営農指導をしていくかが重要。

○資材高騰によってハウスの新設や規模拡大が難しくなってきている。

(2) 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

○資材高騰や販売単価の低迷、農地の条件が悪い等が要因で農業だけでは十分な収入が得られない。

○小規模な農家が多い、電気の便が悪いなど、デジタル化やスマート農業がなかなか浸透しない。

(3) 流通・販売の支援強化

○資材価格高騰によって経費が上がっているが、農産物の販売単価は上がっていない。

(4) 多様な担い手の確保・育成

○資材高騰によって、就農相談でハウスの費用を聞いて就農をあきらめる人も多い。また、新規就農者も年間の償却額の増加により離農する事例も出ており、従来の就農支援では厳しくなってきている。

○親の経営基盤が弱いことや、農業情勢の悪化等により親元就農でさえもリスクが高まっている。

○人口減少・高齢化等により、県内全域的に生産現場や集出荷場における労働力不足が深刻となっている。

(5) 農業全体を下支えする基盤整備の推進と農地の確保

○農地の相続ができていない、地権者が座談会に出てこない等の理由により基盤整備が進まない。

2 現在の県産業振興計画の評価

(1) 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化

○Next 次世代型こうち新施設園芸システムの普及が進み中堅・若手農家が新しい目標を見つけ意欲的になっている。生産量が増え、産地の維持が図られている、他産地の農家との繋がりができているなど、十分に評価できる。

○施設園芸農家に比べ、露地栽培農家への支援が十分でないと感じる。

(2) 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

○県全体としては農業振興が進んでいると感じるが、中山間地域ではあまり感じられない。

○ドローンを使った防除は、省力化に役立っている。

(3) 流通・販売の支援強化

○グロリオサの輸出について、年々輸出額が拡大しており、なくてはならない取組となった。

○消費宣伝等 PR していただいているが、販売価格になかなか反映されていない。

(4) 多様な担い手の確保・育成

○様々な就農支援策により、地域で担い手を確保する体制ができている。

(5) 農業全体を下支えする基盤整備の推進と農地の確保

○地域によって差が見られる。基盤整備が進んでいる地域では新規就農者が増え活気があるが、そうでない地域では新規就農の際に条件の良い農地を確保するのに苦労したり、耕作放棄地が増加するなどしている。

3 県産業振興計画の次のステージに望むこと

(1) 生産力の向上と高付加価値化による産地の強化

○水稲・果樹・露地野菜などでも「SAWACHI」でデータを活用できるようにしてほしい。

○資材価格高騰の影響を受けにくい構造転換やデジタル化・グリーン化の実現に向け、スマート農機や低コストな加温機器・加温方法等の新技術の開発・普及や耐低温性品種の育成などに取り組んでほしい。

○ハウス整備や中古ハウスの有効活用など生産基盤強化の支援を拡充してほしい。

○稲 WCS や家畜ふんたい肥等国内資源の有効活用に向け耕畜連携の仕組みづくりを強化してほしい。

(2) 中山間地域の農業を支える仕組みの再構築

○中山間地域に合った品目の検討や技術指導、スマート農機の普及など、中山間地域でも農業で生活していけるような体制づくりをしてほしい。

(3) 流通・販売の支援強化

○品目ごとにコストを試算して販売価格に転嫁できるようにしてほしい。

○価格転嫁ができるよう、国消国産など消費者理解の醸成に向けて全国で連携して PR してほしい。

(4) 多様な担い手の確保・育成

○新規就農者の負担軽減のため、ハウス整備等の就農支援を拡充してほしい。

○親元就農は定着率も良く、担い手対策として強化すべきであり、是非支援を拡充してほしい。

○異なる業界との人材の共有など労働力確保対策を強化してほしい。

(5) 農業全体を下支えする基盤整備の推進と農地の確保

○基盤整備の推進を重点的にお願いしたい。農地を請け負う担い手や集落営農組織等も負担が増加しており、作業効率の良い環境整備が必要。特に中山間地域では条件の悪い農地が多いため、基盤整備を進めることで新規就農者の確保にも繋がる。

○担い手の確保を進めるためには地域計画の策定が重要。地域をとりまとめられるリーダーの発掘や研修等をしっかりやってほしい。県・市町村・JA 等一緒になってサポートしていただきたい。

4 その他

○はちぎん農業大学のように、女性に農業への興味を持ってもらえるような研修等を充実してほしい。

○既存の農家がいかに長く農業を続けられるかについても検討し、支援をしてほしい。

○農業機械の更新・導入に係る支援を検討してほしい。